

## 吃音（どもり）とは

### 吃音の3つの症状

- ・ 話しはじめや特定の音を繰り返す（「ぼ、ぼ、ぼくは...」）
- ・ 最初のことばを引き伸ばす（「ぼーくは...」）
- ・ 最初のことばが詰まって出てこない（「.....ぼくは」）

以上の症状が続く状態です。育て方やストレスが原因ではなく、脳のことばを処理する回路の個人差によるものです。本人の意思でコントロールすることはできません。

## お願いしたい配慮

### やっていただきたいこと

- どもっているときは、最後まで待つて聞いてください
- 話し終わったら「うん、そうだね」とふつうに返してください
- ゆっくりした話し方を大人が見せてあげてください
- どもっていることでなく、話の内容をきいてください
- 本人が気にしている様子のときは、別の話題に切り替えてください

### やらないでほしいこと

- 「ゆっくり言って」「もう一度言って」と言わないでください
- 「落ち着いて」「深呼吸して」と言わないでください
- 文章を先読みしたり代わりに言わないでください
- どもりを指摘したり、からかいを放置しないでください

## 園での場面別の対応例

### ◆ お当番活動（出席確認・号令など）

- ・ 号令や当番の言葉はなるべく短くシンプルなものにしてください（「起立」「礼」など単語だけでもOK）
- ・ 長い台詞がある場合は、あらかじめ一緒に練習するか、横で小声で補助の言葉を添えてください
- ・ うまく言えなかった場合でも「やり遂げた行動」を褒めてください

### ◆ 発表・スピーチ・劇・歌

- ・ 一人で言うのではなく「みんなと一緒に声を出す」「文章を短くする」「原稿を見ながら読む」などの配慮をお願いします
- ・ 発表を強制せず、お子さんが参加できる形を一緒に探してあげてください
- ・ どもっても最後まで発表させてあげることが本人の自信につながります

### ◆ 友達からからかわれたとき

- ・ まねしたり笑ったりする場面があった場合は、その場でやさしく止めてください
- ・ 吃音のある子の自己肯定感を守ることが、ことばの発達においても最も大切なことです

### ◆ 園生活全般

- ・ 「ありがとう」「おかわり」等の園生活で使用することばの多くが母音「あ・い・う・え・お」で始まるので、言いにくいです。
- ・ 言わなくてもいい環境を作ってください。挨拶のかわりにお辞儀をする、空のコップを持って行く等、話す以外の代替手段の検討をお願いします。

## 【連絡先・相談窓口】

お子さんの名前：

保護者名：

相談先・ST 機関：

連絡先：